

上昇気流



令和3年

4月26日(月)

【No. 6】

『新しい一歩を踏み出そう!』

金曜日に開かれた、この学年にとって初めての“臨時”学年集会、みなさんはどのように受け止めたでしょうか…?一人一人の先生が、思いの丈を語りましたが、どの先生もみなさんのことを大切に思い、すごく期待していて、ぜひ頑張してほしいと思っているということを忘れないでください。



今回の集会で、先生たちはみなさんに、ひとつの「問いかけ」を行いました。決して、“こうしなさい”“ああしなさい”と指示したわけではありません。あなたたち一人一人が、この「問いかけ」に対して、自分としての「答え」をしっかりと出すことを期待しているのです。なぜならば、ひばり中での学校生活の主役は、これまでもこれからも“あなたたち自身”だからです。自分として、どのような中学校生活を送りたいのか、クラスや学年の仲間たちとどんな関係を築きたいのか、そこを考えてほしいのです。

中学校2年生は、1年間の経験があるので、1年生のときよりも見通しを立てて行動したり、改善や工夫を加えることができるので、より充実した学校生活が送れるといわれています。しかし、その反面、2年目から起こってしまう“慣れ”や“気の緩み”が出て、だらしない雰囲気が広がったり、生活が乱れたりすることもあるのです。今回は、その心配な面の方が出てしまったようですね…。

学年集会が終わって教室に戻り、みなさんには、『1. 自分は、学年の一員として学校生活をどうしていきたいか』『2. 学年のみんなに向けて、「こんな学年にしよう!』という2つの質問に答えてもらいました。放課後に、一人一人の思いを、先生たちみんなで読ませてもらいました。みなさんのアツい思いを受け止めて、先生たちも気持ちを新たに、今日からまた一緒に学校生活を送っていこうと思っています。ぜひ、この学年が信頼関係で結ばれた、本当の意味での「ひばり中生」となり、後輩たちから目標とされる、あこがれの存在となっていくことを期待しています。2年生のみんな、頑張ってください!!

【保護者の皆様へ】

3度目の緊急事態宣言が発出され、子供たちにとっては制限を強いる生活が続いていきます。学校では、安全第一で少しでも充実した生活が送れるように努力してまいります。

ところで、2年生に進級して3週間が過ぎ、学年の中に少し気の緩みがみられるようになりました。具体的には、登校時刻がルーズになる、不要物を持ち込む、学校のきまりを守れないなど、いくつかあげられます。学校でも指導を継続していきますが、ご家庭でも気をつけていただいて、ご協力をよろしくお願いいたします。

< A組 >

- 「きまりは全て守り、自ら行動を起こすことのできる学年にしましょう」
- 「ルールをしっかり守り、正々堂々とできるような学年にしましょう」
- 「学年で誰もがルールを守り、できていない人がいたら注意できるような、“正直者がバカを見ない”ような学年を、みんなで作っていきましょう」
- 「後輩にあこがれられるような、模範となる行動を心がけながら、明るく楽しい学年にするために、一人一人が意識して生活しよう」
- 「信頼し合いながら、分からないことは助け合いながら、成長し合えるような学年にしよう!」
- 「一人一人がルールをしっかり守り、やるときはやる、楽しむときは思い切り楽しむ切替えをしっかりしていきたい」
- 「いじめやルール違反がなく、やるときはちゃんとできる学年にし、立派なひばり中生になれるように努力していこう」
- 「嫌な空気にならないようにして、行事などを楽しく行えるような学年にしたい」

< B組 >

- 「間違っていることは、はっきりと間違っていると言える信頼関係を築こう」
- 「ルールやマナーを守って、お互い助け合って後輩たちに胸を張れる学年にしたい」
- 「正直で誰も傷つかない学年にしよう。一人一人が自分の心をしっかりともてる学年にしよう」
- 「言葉だけではなく、行動でも示せるような学年。また、後輩の手本となり、“この学年すごい”と思われるような先輩、ひばり中生になる」
- 「一年後、この学年の一員で良かったと誰もが思える学年にしよう。もう一度自分を見つめ直し、メリハリをつけ、それぞれの良さを発揮できる素敵な学年を目指そう」
- 「心の底から信頼し合える“ひばり中生”になるために、お互いのことを知り、助け合っていこう」
- 「臨時で集まることはもうやめよう。こういう紙に意見を書くのもやめよう。決まりを破るのもやめよう。自分がやめたら友だちもやめて、その友だちもやめる。そしてクラスや学年に広がって、“良い”学年にしたいです」
- 「私は、クラスや学年全体をチームのようにしたいです。たがいを尊重し合い、時には競い合い、全体を高めていく、そんな関係になりたいです。信頼を深め、この学年を最高のチームにしましょう」

< C 組 >

- ⑤「みんなで楽しく、仲の良い学年。仲間外れがなく、一緒にいて楽しく安心できるような学年」
- ⑥「先生から言われなくても、自分たちで動き、学校の決まりを守り、自分たちの力で進み続ける学年」
- ⑦「一人一人が誇りをもって“ひばり中生”だと名乗れるような学年にしよう」
- ⑧「みんなが笑顔な学年にしよう。人に合わせてばっかじゃなくて、自分だけのものを出していく」
- ⑨「一人一人が中学2年生としての自覚と誇りをもって、切替えを大切に、楽しく、そして立派な大人に近づくために努力できる学年にしよう」
- ⑩「3学期には、ひばり中生と自分から言えるように、先生方からも認めてもらえるようにしよう。最高の2年生だったと思えるようにしよう」
- ⑪「やはり、学年全体が一丸となったり、一人一人が自立していく。ひばり中生としての自覚などを意識することで、最高の学年となっていくと思う」
- ⑫「もう一度、入学したときの気持ち、先生からの言葉を思い出して、その気持ちや言葉を忘れるのではなく、土台にして生活していく。1年生のときから続けていたことは続け、新たに2年生として、先輩として動ける学年にする」

< D 組 >

- ⑬「間違いを間違いと言える、勇気ある正しい学年にしよう」
- ⑭「お互いがお互いの良いところを最大限に発揮できるような学年」
- ⑮「人から言われてからするのではなく、自分から考えて行動できるようになろう」
- ⑯「いけないことだと分かっているならやらないと決めて、先輩としての自覚をもって学校生活を良くしていきたい」
- ⑰「一人一人が意識を高くもって、悪いことをしようとする人がいないような空気をつくっていこう」
- ⑱「“正直者がバカを見る”ではなく、ルールを守っていない人には友達でも注意し、みんなが過ごしやすい学年をつくろう」
- ⑲「“自分だけ”の甘い気持ちは、学年の人、先生への裏切りと同じことです。周りが守っていることに対して、バレなければいいという気持ちではなく、立派なひばり中生を目指すため、学年全体で努力、協力をしましょう」
- ⑳「“一人一人が1/154なんだ”という自覚を明確にもって、学年目標に向かっていきたい。二度と同じ過ちを犯さないように、日々気をつけていこう！決してこれを言葉だけで終わらせない、実行しよう！」